



MADOCA LOW TABLE

昭和の食卓、その象徴的な存在であるちゃぶ台を、現代の暮らしに馴染むようにリデザインしたローテーブル。ちゃぶ台といえば、思い浮かぶのは定番の丸いかたち。そして、4本のちょこんとした脚。そんなちゃぶ台的要素をベースにしつつ、モダンな佇まいであり、ソファテーブルとしても座卓としても使い心地のよいものを目指した。

4つの脚は天板の最端部に配置されていて、いわゆるトラディショナルなちゃぶ台よりも脚間がゆったり。床に座って使う時に脚が邪魔になりにくい。脚部はきわめてシンプルな形状でありつつ、木口が天面に露出していたりなど、ディテールに凝っている。天板の木口は45度にカットされており、シャープな印象。大きく弧を描く天板と、直線的な脚部。それらの調和によって、やわらかな感じも、凛とした感じもある、独特の雰囲気生まれている。

ソファに座りながら、はもちろん、座卓としてもしっかり機能する。だから食事できるし、ものを書いたり、ノートPCを持ってきて作業する時にも便利だ。ラグを敷けばより快適。極論、ダイニングテーブルが無くとも、これがあればたいは事足りてしまう。ソファでくつろいで、たまに床において食事や書きものをして、少し疲れたらまたソファに・・というふうな。また、ソファに座っていたつもりが、気付けばいつの間にか床に座っている、という日本人ならではの習性をもつ人にも向いている。

その丸いかたちにも魅力がある。インテリアを構成する色々な要素は、基本的に四角いかたちをしている。間取り自体もそうであるし、床壁も、窓やドアも、家具や家電の多くも。だからなのか、そういう中にぼんと丸いものがあると、空間を漂う空気が少し変わる。よく「リズムが生まれる」と表現される効果だが、確かにそういう変化を感じることができる。そういうわけから、丸いアイテムはインテリアコーディネート的にもおすすめです。

素材はオイルで仕上げた無垢材だけを使用。大切な人たちとの毎日の団らんを、穏やかに、あたたかく見守りながら、経年によって使い込むほどにだんだんと味わいが深まっていく。

【仕様】ウォールナット無垢材(オイル仕上) / オーク無垢材(オイル仕上) 日本製

REMBASSY



TYPE	PRICE
L W904 D904 H352	[WALNUT] [OAK] 182,200
M W404 D404 H552	[WALNUT] [OAK] 82,200
S W404 D404 H452	[WALNUT] [OAK] 75,900

価格はすべて税込表記です。